2016 10 vol.31

ヨコハマよみうり
Yokohama Yomiuri

■発　　行／横浜読売会
■発 行 日／毎月5日
■発行部数／40万部
■発行エリア／横浜市内全域
■制　　作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0023
横浜市中区山下町51-1
読売横浜ビル1F
http://yokohama-yomiuri.co.jp

音楽 演劇 落語
チケットのお求めは7面へ
限定特価、先行発売、お見逃しなく!

真っ白いシャツにジーンズ、そしてハットというシンプルな装い。“ダンディー”という言葉がふさわしいオーラと気品をまとい、颯爽と登場された藤竜也さん。自然体で「今」を楽しむ毎日や、ご出演の映画「お父さんと伊藤さん」についてお話を伺った。

1941年中国・北京市出身、横浜育ち。大学在学中にスカウトされ日活に入社、1962年映画『望郷の海』でデビュー。その後、数多くの映画に出演。硬派・コミカル・シリアス・バラエティとあらゆる役幅を持つ。『愛のコリーダ』(76年)で第1回報知映画賞最優秀主演男優賞を受賞、『村の写真集』(04年)では第8回上海国際映画祭最優秀主演男優賞、『龍三と七人の子分たち』(15年)では第25回東スポ映画大賞主演男優賞を受賞。

北京で生まれ、横浜で育つ

戦時中に北京から家族で日本に引き揚げてきて、一番初めは疎開先の小田原の小学校に通いました。その後は横浜市の西谷小学校、一時期葉山に移り、再び戸部小学校、一本松小学校と、少年期からほぼ横浜で生活しています。戦後でいろいろあったし、父が6歳の時に亡くなってしまったので、母は大変苦労しました。ちょうど世の中も落ち着いてきたころ、関東学院中学・高校に進学。それから日本大学芸術学部に進学したけれど、ちょっと首突っ込んで辞めちゃった。俳優になり、一時所属していた日活の撮影所の近くに住んだこともありましたが、結婚と同時にまた横浜に戻ってきました。

演じるために調べる

スカウトされて俳優になり、50年以上。役に対しては背景を徹底的に調べます。例えば、今回の映画「お父さんと伊藤さん」の場合は地方公務員。大学を出て、狛江の小学校で勤務していた。だったら定年まで沿線の何校かで勤めたんだろうな、じゃあ年金はいくらだな。その辺で家買ったらいくらだろう、って路線価を調べたり。やることなくて、息子の家も半ば追い出されて、でもシャキッと背筋を伸ばしている理由は、幾ばくかのお金を持っているからだ、などと想像するんです。仕事を離れてから、故郷・長野の大きな家や山河への思いが強くなっていったんだ、と思うの。そういう「お父さん」の背景を実際に見てみたいじゃないですか。だから行ってみる。長野・大町温泉の背後に広がる山岳地帯を見て、「ああ、お父さん、こういうところで育ったのか」みたいな。

調べにくい商売もあるけど、調べます。調べるのは趣味(笑)。インターネットを駆使します。インターネットはすごく大事ですよ。すごく助かっている。だからウィキペディアなんかで寄付してくれって書いてあるでしょ?僕は必ず寄付します。だって本当にありがたいから。

完全燃焼主義

若い頃は自分でルールを決めていた気がします。「これは俺が考えているものじゃないから嫌だ」「これは許せない」と。今は全部許せるようになりました。疲れることが嫌になったのだと思います。趣味に関しても、大体一つのことを10〜15年続けてきました。長いもので20年くらい。50歳前まではスポーツ系。ダイビングではアマチュア最高の認定書「ダイブマスター」を取得しました。同時にウィンドサーフィンも始めましたが、身体は正直なもので、やろうという元気がなくなった。50歳を過ぎてからは陶芸。自宅の庭に窯を置き、一時は仕事もせずにひたすら作品を作り続け、個展を開くほど熱中していました。が、寝ずに窯の番をするもの疲れるので、きれいさっぱり辞めました。

今、すごく楽です。でもやっぱり抗って生きる時代はあった方がいい。つらい時もあるけれど、誇りもあるだろうし、壁に立ち向かう時があってもいい。でもね、僕はもう老年ですから。老年には老年の知恵や生き方があるわけです(笑)。

妻と結婚してよかった

今、毎日が楽しい。これからはやりがいのある仕事が来ればいいです(笑)。今までで一番良かったことは、妻と結婚したことかな。妻と結婚したから今ここにいるんだな、って思う。日々、老いと向き合っているけれど、それは仕方がない。妻(女優の芦川いづみさん)は専業主婦。結婚を機に女優業を辞めようと決断したのは妻です。その時にどんな気持ちだったとか、細かく聞いたことはありません。でも、俳優としては僕よりも全然優れた、いい仕事をしていました。そういう時に辞めたというのは、大きな決断だったんだろうな、と思います。知り合って1か月ちょっとで結婚しちゃったからね、早かったんですよ。

横浜には仲間がたくさん

今の場所に43〜4年住んでいます。住宅地として開発される前は畑だったんだから。僕が一番の長老です。家族でご近所の方たちと楽しんでいます。ウォーキングしながら中華街まで行って飲食レポートを作ったり、旅行に行ったり。この間は福井県まで行きました。今週も民宿の旅に行く予定で、僕がネットで調べて良さそうな民宿を予約したのですが、仕事で参加できなくなっちゃった。

横浜っていい街だねぇ(笑)。今、一番素敵だと思う。みなとみらいあたりの美しさったらないじゃない。ベイブリッジとあの海岸沿いの美しいホテル、ニューグランドのあたりとか。あの橋を渡って、都内から自分の街、横浜に帰ってくるとき、「俺、きれいな所に住んでるなぁ、こんなに美しいところに」って思うもんね。

映画「お父さんと伊藤さん」
10月8日(土)から公開

◆初日舞台挨拶 横浜ブルク13にて
◆12時30分の回 ◆登壇者
藤 竜也さん、上野 樹里さん、リリー・フランキーさん、タナダユキ監督

住宅型有料老人ホーム
SunCity

サンシティみなとみらいEAST ダイニング

医
複数の医療機関の協力

食
食事の一例

住
居室の一例

アクティブシニアの豊かな住まい
“住宅型”有料老人ホーム サンシティみなとみらいEAST

10/7(金)〜10/22(土)『見学・相談会』開催!
各日5組 参加無料 [要予約]

ご希望・日程・お時間をご指定のうえ、下記お電話番号にお気軽にお申し込み下さい。

時　間　11:00〜13:00 昼食付
集合場所　◎「サンシティみなとみらいEAST」現地集合
「横浜」駅東口より市営バス「コットンハーバー循環」で3つ目
「星野町公園前」バス停下車直ぐ

※ご来館方法については、見学会お申し込み時にご案内いたします。
※応募者の人数により日時を調整させていただくことがございますので、ご了承下さい。
※今回の日程に参加できない場合は随時ご案内いたしますので、お電話にてお気軽にお問い合わせください。

食事の一例

住宅型有料老人ホーム(入居時自立)
サンシティ みなとみらいEAST
神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-5-1

見学相談会のお申し込み、資料請求はフリーダイヤルまで
0120-039-370
受付時間/9:00〜17:00 土日もお電話を受け付けております。
http://www.hcm-suncity.jp サンシティみなとみらいEAST 検索